

令和 7 年度第 2 回
朝霞市障害者プラン推進委員会議事録
令和 7 年 1 0 月 3 0 日

障害福祉課

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和7年度第2回朝霞市障害者プラン推進委員会	
開催日時	令和7年10月30日（木） 午前10時00分から 午前11時00分まで	
開催場所	オンライン（Z o o m）、 朝霞市役所 4階 401会議室	
出席者及び欠席者の職・氏名	別紙のとおり	
議題	別紙のとおり	
会議資料	別紙のとおり	
会議録の作成方針	<input checked="" type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	<input type="checkbox"/> 要点記録	
	<input type="checkbox"/> 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	<input checked="" type="checkbox"/> 会議録の確認後消去 <input type="checkbox"/> 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法 委員全員による確認	
傍聴者の数	0人	
その他の必要事項		

令和7年度第1回

朝霞市障害者プラン推進委員会

令和7年10月30日(木)
午前10時00分から
午前11時00分まで
オンライン(Zoom)
市役所4階 401会議室

1 開 会

2 議 題

(1) 第6次障害者プラン等の評価等について

(2) 第8期障害福祉計画等の策定について

(3) その他

3 閉 会

出席委員(15人)

委 員 長	立教大学	飯 村 史 恵
副 委 員 長	社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会	柴 田 一 彦
委 員	朝霞市視力障害者友の会	高 橋 俊 治
委 員	NPO法人 朝霞市心身障害児・者を守る会	高 垣 和 美
委 員	地域で共に生きるナノ・朝霞	須 貝 孝
委 員	特定非営利活動法人 朝霞市つばさ会	本 橋 操
委 員	特定非営利活動法人 彩の会	栗 山 享 起
委 員	特定非営利活動法人 なかよしねっと	住 田 貴 子
委 員	特定非営利活動法人 ぷりずむ	木 舩 晴 子
委 員	社会福祉法人 埼玉県社会福祉事業団	長 塚 覚
委 員	埼玉県朝霞保健所	福 地 みのり
委 員	社会福祉法人 朝霞地区福祉会	秋 山 弥 生
委 員	朝霞地区一部事務組合 すわ緑風園	平 間 満美子

委	員	市民（公募）	近岡賢二
委	員	市民（公募）	齊藤佳江
欠席委員（２人）			
委	員	朝霞市聴覚障害者協会	戸田康之
委	員	歩の会	鈴木洋子

事務局（６人）

事	務	局	障害福祉課長	竹村聡
事	務	局	障害福祉課課長補佐	伊藤利晶
事	務	局	障害福祉課障害給付係長	佐々木康之
事	務	局	障害福祉課障害給付係主任	高橋竜弥
事	務	局	障害福祉課障害給付係主事	芳賀祥弘
事	務	局	障害福祉課障害給付係主事	原子那木

会議資料

- ・令和７年度第２回朝霞市障害者プラン推進委員会次第
- ・資料１－１ 第６次朝霞市障害者プラン・総括評価シート【Ｂ票】
- ・資料１－２ 第７期障害福祉計画等【評価コメント】
- ・資料２ アンケート調査票

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

◎1 開会

○事務局・佐々木係長

令和7年度第2回朝霞市障害者プラン推進委員会を開催いたします。

本日はお忙しい中、御出席いただき誠にありがとうございます。本日は、オンラインと会場出席合わせて、委員17人中15人の出席をいただいております、会議成立定足数の過半数を満たしておりますことを、御報告申し上げます。

議事録を作成するため、会議を録音させていただきます。御発言の際には、挙手の上、ミュートを解除していただき、お名前とともに御発言いただきますようお願いいたします。なお、議事録につきましては、内容を事務局で整理し、委員の皆様にご確認いただき確定いたします。御協力をお願いいたします。

会場にお越しの委員の発言の際には、ハウリングを防ぐため、会場内でのパソコンは原則としてミュートとします。オンラインで出席されている委員におかれましても、音声の混同を避けるため、原則としてマイクはミュートとしていただきますようお願いいたします。

それでは、資料の確認をさせていただきます。事前にお送りしたものといたしまして、

- ① 令和7年度第2回朝霞市障害者プラン推進委員会次第
- ② 資料1-1 第6次朝霞市障害者プラン・総括評価シート【B票】
- ③ 資料1-2 第7期障害福祉計画等評価コメント
- ④ 資料2-1～4 アンケート調査票

以上となります。不足等はありませんでしょうか。

続きまして、今年度から市民委員として委嘱させていただきました、齊藤佳な江委員に御出席いただいておりますので、ひとこと御挨拶をいただけますでしょうか。

○齊藤委員

市民委員の齊藤佳な江と申します。よろしくお願いします。

○事務局・佐々木係長

ありがとうございます。

それでは、これより議事進行を飯村委員長をお願いいたします。

◎2 議題（1）第6次障害者プラン等の評価等について

○飯村委員長

議事に入ります前に、本委員会は、原則会議公開の立場をとっております。傍聴人がいらっしゃる場合は、すでに会場に入室していただいておりますが、会議の途中でも傍聴人がいらっしやった際には、朝霞市障害者プラン推進委員会傍聴要領の規定に従い、随時、入室を許可いたしますので御了承ください。

まず1点目、第6次障害者プラン等の進行管理・評価等について、事務局から御説明をよろしくお願い申し上げます。

○事務局・佐々木係長

「資料1-1 第6次朝霞市障害者プラン・総括評価シート【B票】」を御覧ください。

令和6年度の各種施策の評価について、委員の皆様からいただいた5つの基本目標ごとの個別意見をまとめ、委員会コメント案を作成いたしました。

また、各施策に対する評価の平均を委員会評価としてアルファベットでお示ししております。平均点が0点～1.49点をD評価、1.5点～2.49点をC評価、2.5点～3.49点をB評価、3.5点以上をA評価としております。

○事務局・高橋主任

ここから説明を担当させていただきます、事務局、高橋と申します。

それでは、1ページを御覧ください。

「基本目標1 共生社会の実現を目指す」につきましては、窓口設置やホームページの整備などにより、相談がしやすい環境づくりは評価できる一方で、障害者とその御家族に対するサポート体制、権利擁護や人権に関して学ぶ機会を充実させていくことには課題が残るといった御意見がございました。

次に、2ページを御覧ください。

「基本目標2 地域生活を充実し、社会参加を支援する」につきましては、DXの推進や高齢化社会など現代社会に対応したアプローチ、環境整備が必要であるとともに各種障害福祉事業所のニーズに対する人員の確保と質の向上が課題であるなどの御意見がございました。

次に、3ページを御覧ください。

「基本目標3 就労を支援する」につきましては、一般就労が増えていることや就労支援、職業訓練が増えていることは評価できる一方で、知的障害者の雇用には課題が残り、障害者が制作したアート作品をふるさと納税の返礼品として出品するなど就労機会を創出していくことも大事ななどの御意見をいただきました。

次に、4ページを御覧ください。

「基本目標4 共に育ち、共に学ぶ療育・教育を推進する」につきましては、児童発達支援や放

課後デイのニーズ増加とともに事業所も増え続けていることから療育の充実を図られているものの学齢期以後の充実はどうつなげていくか、長期的な視点が求められていること、発達障害についての記述がないこと、学校関係のバリアフリーが進んでいないことなどの御意見をいただきました。

一方で、保育園での受け入れや就学相談における保護者の意向の反映、医療的ケア児への対応については、着実な進歩が見られるといった評価をいただきました。

次に、5ページを御覧ください。

「基本目標5 安心・安全な暮らしをつくる」につきましては、学校の修繕や道路整備や駅のエレベーター設置などは適切に進められており、健常者の視点に限らないインフラ整備への御期待のコメントをいただきました。また、地域の医療体制や防災、防犯などハード面に比して実行しやすいソフト面の取り組みの推進について御意見をいただきました。

続きまして、「資料1-2 第7期障害福祉計画等【評価コメント】」を御覧ください。

こちらもプラン同様、各委員の皆様から、いただいたものを事務局でまとめ、委員会コメント案を作成いたしました。

障害児支援について、事業所の増加に伴い保護者のニーズに合わせた選択ができるようになったと評価をいただいた一方、相談支援員不足、セルフプラン増加に伴うアセスメント不足などの課題解決に取り組んでももらいたいと御意見をいただきました。

また、DXの推進など先進事例を取り込み、共生できる環境づくりを目指していく必要があるなどの御意見をいただきました。

本議題に関する説明は以上でございます。

○飯村委員長

御説明ありがとうございました。

丁寧な資料をいただきましたので委員の皆様もお分かりいただけたかと思います。

何か御質問などがありますか。

○須貝委員

現行計画（2）自立訓練という項目に高次脳機能障害への対応が明記されていますが、高次脳機能障害の方を対象とした機能訓練を実施している施設は朝霞市にありますか。

○飯村委員長

事務局から説明をお願いいたします。

○事務局・佐々木係長

現状、自立訓練の中で高次脳機能障害だけを対象とする施設は聞いたことがありません。全般的なものとして精神障害をお持ちの方に対して自立訓練を行っているということで対象としないとい

うことではありません。

○飯村委員長

須貝委員いかがでしょうか。

○須貝委員

今後そういった施設が出てきましたらその都度教えていただければと思います。よろしくお願いします。

○飯村委員長

それでは引き続き情報提供をぜひよろしくお願いいたします。

ありがとうございました。

そのほか御質問等はございますか。

それでは、現時点ではこの内容で同意いただけたということでこのまま進めていただければと思います。

◎2 議題（２）第８期障害者福祉計画等の策定について

○飯村委員長

続きまして、次の議題（２）第８期障害福祉計画等の策定について事務局から説明をお願いします。

○事務局・佐々木係長

「議題（２）第８期障害福祉計画等の策定について」、説明いたします。

資料を御覧ください。

前回提示させていただきましたアンケートに若干の修正を加えたものです。

主な内容としましては、障害のある方の調査において、仕事に関する設問について、仕事をしている場合、していない場合で分けて回答を求め、前回よりも詳細を伺う形で整理しました。

また、事業所において、職場定着の取り組みを伺うとともに、虐待防止の取り組みについて設問を追加しました。

続きまして画面を共有いたします。団体以外につきましてはWEBフォームを作成しており、QRコードやURLからアクセスし、回答いただけるようにしております。

今後、１１月１日付で対象者リストを作成し、アンケート等の印刷、封入封緘を行い、１１月２０日の発送を予定しております。

回答期限は１２月中旬頃を想定しており、年度内に報告書を作成したいと考えております。また、年明け頃からヒアリングの実施を検討しており、障害福祉サービスの利用が多い方などに、実

状などを直接伺えたらと考えております。

○飯村委員長

具体的なWEBフォーム画面なども皆様に御覧いただいたところであります。

何か御質問等はございますか。

○住田委員

このアンケートはこの項目で決定ということでしょうか。

○飯村委員長

事務局の方いかがですか。

○事務局・佐々木係長

これから項目を追加ということは難しいですが、微修正程度であれば対応可能です。

○飯村委員長

ありがとうございました。

住田委員、いかがでしょうか。

○住田委員

「資料2-2 本人及び保護者用アンケート」について、保護者用は保護者が記入し、18歳未満の方は状態によって、本人が答えられない場合は保護者が代わりに答えるということでしょうか。

○飯村委員長

事務局、いかがでしょうか。

○事務局・佐々木係長

そのような認識で間違いありません。本人が直接回答することが難しい場合は、本人の意思を尊重して保護者や介助者に回答いただくものになります。

○飯村委員長

住田委員、いかがでしょうか。

○住田委員

大きな修正はありませんが可能であれば対応いただきたいのですが、16ページ、問2の14番が保健センターとなっていますが、朝霞市はこども家庭センターが4月から始まっており、検診などを実施しているはずなので、認知度をあげるためにも追記した方がいいのではないのでしょうか。

17ページ「2 お子さんの日中活動・教育について」の問4の1番の「保育所等に通っている」には保育園や幼稚園も含まれているのだと思いますが、選択肢を分けて保育園なのか幼稚園なのか分かるようにした方がいいのではないのでしょうか。

また、6番の「児童発達支援事業所・児童発達支援センターに通っている」の項目も市内なのか市外なのかを分けて市内の充足具合も分かるといいのではないのでしょうか。

問4と問8が被っていて、保育所に通っている方に加配があるのかないのかを聞いているのだとは思いますが、すっきりさせて幼稚園でも加配の有無が分かるといいのではないのでしょうか。

問10で児童発達支援と放課後デイサービスは年齢の幅が広がるので分けて質問した方がいいと思いました。

対応可能なものがあれば教えてください。

○飯村委員長

御質問ありがとうございます。

事務局としてはいかがでございましょうか。

○事務局・佐々木係長

問2の保健センターの部分について、こども家庭センターを追加した方がいいという御意見につきましては、おっしゃるとおりかと思しますので修正させていただきたいと思います。

問4の保育園なのか幼稚園なのかといったところにつきましては、細分化して捉える必要があるかどうかを検討した上で決めたいと思います。

同じく児童発達支援事業所・児童発達支援センターが市内なのか市外なのかということについて、市内の充足率を測ることは確かに必要なことかもしれませんが、こちらも検討させていただきたいと思います。

問10の児童発達支援と放課後デイサービスを分けるという意見につきましては、前段で年齢の聴取をしているので、分ける必要はないものと考えております。

○飯村委員長

住田委員いかがでしょうか。

○住田委員

大丈夫です。

○飯村委員長

加配の状況は、当事者から伺うことも可能ですが、事務局側から把握をすることも可能かと思えます。いろいろな形でこのアンケートをどう生かしていくかが重要かと思えます。

最終的に現在のものから変更があれば御質問もいただいたことですし、フィードバックをしていただければと思います。

○事務局・佐々木係長

保育所なのか幼稚園のかなどは委員長がおっしゃられたように障害福祉計画の中で把握してい

るものもありますので、アンケートに反映が必要なのかは検討したいと思います。

○飯村委員長

そのほかいかがでしょうか。

○秋山委員

先ほど住田委員がおっしゃられたようにアンケートを答える保護者目線で考えると保育所等の中に幼稚園が含まれるかどうかは保護者によって捉え方が変わってしまう可能性があるので、「幼稚園・保育所等」というような表記に改めた方がいいのではないのでしょうか。

○飯村委員長

事務局、いかがでしょうか。

○事務局・佐々木係長

確かに保育所等という書き方ですと幼稚園を含まない考える方もいらっしゃるかと思いますので修正する方向で考えたいと思います。

○飯村委員長

ありがとうございました。

○齊藤委員

質問が重複してしまうところもあるかもしれませんが、本人用と本人及び保護者用がありますが、多くの方が保護者や介助者と一緒でないと答えることが難しいと思います。そうすると保護者は両方を答えることになってしまうと思うので分ける必要があるのかをお伺いしたいと思います。

○事務局・佐々木係長

18歳未満及び保護者用としてお送りするものになりますが、本人の御意思を伺うために回答していただくものが本人用、保護者用は保護者の目線での回答を聞いていきたいということで整理させていただいております。

○飯村委員長

齊藤委員。

○齊藤委員

内容が重複しているようにも見えていて、どれだけの人が本人用をどれだけの人が2人で答えられるのか疑問に思っています。結局保護者が両方答えることになってしまうことになる気がしましたので、もう少しコンパクトにしてもらえると答える側もうれしいのではないかと思います。

御検討いただければと思います。

○飯村委員長

本人用は、成人の方にしか送られません。成人の方でも介助が必要で御家族等が御本人の意向を

確認して回答するという事もあると思います。18歳未満及び保護者用につきましては、御本人の状況並びに保護者のニーズも把握するために設計しているものだと思いますが、きちんと正確にニーズを捉えるためには齊藤委員の提起は重要だと思います。対象の方に重複感を与えないよう御確認いただければと思います。

佐々木さん、何か補足はありますか。

○事務局・佐々木係長

実質的にほとんどを保護者が回答することになったとしても御本人の意思を尊重し、捉えていく必要もございますのでこのような形になっております。

○飯村委員長

そのほかいかがでしょうか。

○平間委員

紙のアンケートにはフリガナを振っていただいておりますが、先ほど拝見したWEBアンケートフォームにはなかったので、可能であれば振っていただきたいと思いました。

○飯村委員長

事務局、いかがでしょうか。

○事務局・佐々木係長

時間の関係でお約束はできませんが、対応する方向で考えたいと思います。

○飯村委員長

そのほかいかがでしょうか。

○平間委員

昨今、外国をルーツにする方が朝霞市にもいらっしゃるかと思います。このアンケートの対象にそういった方がいらっしゃった場合どのように対応するかお考えはありますでしょうか。

○飯村委員長

事務局、いかがでしょうか。

○事務局・佐々木係長

外国をルーツにされる方もいらっしゃいますが、英語版を作るというような対応はできない現状でございます。問い合わせがあった場合には対応するという形で考えております。

○飯村委員長

これからの時代は、日本であれば日本語でという暗黙の了解も多文化との共生社会という意味では、考えていく必要があります。今後の課題として国際交流を実施している組織が朝霞市にもあると思いますので、そういったところとの協力や委員の皆様の知見もお借りしながら、また、WEB

版での翻訳機能なども検討していただければと思います。

そのほかいかがでしょうか。

それではこれで議題（２）を終了します。

◎２ 議題（３）その他

○飯村委員長

議案の最後その他ということになっております。

委員の皆様から追加で御報告なども含めて何かあれば挙手をしていただければと思います。

また、事務局から何か追加事項ですとかがございましたら御説明をお願いします。

○事務局・佐々木係長

特にございません。

◎３ 閉会

○飯村委員長

それでは、皆様の御協力をもちまして、本日の議題はすべて終了しました。

貴重な御意見をいただき、修正等もごさいます。事務局から委員の皆様に連絡もあるかもしれませんが御了承いただければと思います。

それではこれをもちまして、令和７年度第２回の朝霞市障害者プラン推進委員会を終了させていただきます。

御協力ありがとうございました。